

基本目標2 「育み・学び・思いやり」の質の高いまち

分野別政策5 ふるさとへの誇りを高め未来を拓く教育の推進

施策 No. 13 学校教育の充実

10年後のめざす姿 学校と家庭・地域が連携したふるさとのつながりによる「学びの里」が構築され、子ども一人ひとりの教育ニーズに応じ、知・徳・体の調和がとれた「生きる力」を育むとともに、学びの連続性を意識した教育が実践され、安全・安心な環境の中で、特色ある学校運営が行われています。

住みよさ指標	当初	単位	実績値の推移					目標値 (H37)	評価	
			H28	H29	H30	H31	H32			
1 「小中学校の教育環境」に関する市民満足度	17.5	%	目標値	18.0	14.0			20.0	22.5	↓
			実績値	13.4						
2 地域人材の活用回数	299	回	目標値	305	400			330	360	○
			実績値	485						
3 不登校児童・生徒数	119	人	目標値	119	115			110	100	○
			実績値	119						

総合評価 **C** 住みよさ指標の状況 「小中学校の教育環境」に関する市民満足度については、学校教育のソフト面とハード面があり、どちらの課題が大きいかわかりたいが、全国学力・学習状況調査の学校生活の満足度を問う質問では、小学校85.4%、中学校80.2%と高い評価を得ている。また、窃盗や暴力などの問題行動件数も激減している。地域人材の活用回数については、コミュニティ・スクールの推進による小学校への学習支援等での活用が増えたほか、中学校体育(柔道)の指導者での地域人材活用などが進んだために目標を達成した。不登校児童・生徒数については、減少には至らないものの増加させないという目標を達成した。

施策を構成する事業の状況 「学校教育推進事業」「奨学金事業」「人権教育推進事業」「学校教育支援事業」「開かれた学校推進事業」「教職員事業」「学校給食推進事業」「学校運営事業」「学校保健管理事業」「子ども安全対策事業」「子ども教育支援センター事業」の11の大事業があり、未来を担う子どもたちのめざす姿を実現できるよう、全61の中事業を展開している。特に、「学校教育推進事業」の小中一貫教育事業と「開かれた学校推進事業」の学校運営協議会運営事業は、本市教育の大きな柱であり、生徒指導、学力向上における義務教育9年間の一貫した指導の取組みが進む中、児童生徒の落ち着いた学習環境づくりに貢献している。

これまでの取組み ○平成22年3月の教育立市宣言以降、小中一貫教育推進事業や学校運営協議会運営事業に力を入れ、「ふるさとのつながりによる豊かな学び」づくりに邁進してきた。
○児童生徒の問題への支援として適応指導教室指導員やスクールカウンセラー、ハートフルアシスタント、SSWなどを配置し、「チーム学校」として不登校児童・生徒の相談や居場所づくりに取り組んだ。また、介添え員や支援員などの人材を配置し、学校生活や学習に支援の必要な児童生徒に対応してきた。
○28年度については、児童生徒の健やかな心身の成長を願い、河内長野市立学校いじめ防止等対策審議会を設置し、「河内長野市いじめ防止等基本方針」を策定した。また、国事業「通常の学級における発達障害の可能性のある児童生徒に対する支援方法と支援体制の構築」の研究委託を受け、「安心できる集団づくりとわかる授業づくり」について研究成果をまとめ、市内外に発信するとともに、支援教育総合センター「りんく」の機能である巡回相談や発達検査等を充実させた。英語教育では、文部科学省の教育課程特例校の認可を受け、小学校1年生からの英語活動を充実させ、市独自のカリキュラムも活用しながら、国の32年度からの教科化を前倒して先進的に30年度から推進できるよう準備してきた。

課題(めざす姿との差) 取組みが進み、地元の市立中学校への進学率が増加している(私立中への進学率が減少)が、中学校の不登校生徒数は減少していない。一方、公私立の保育園・幼稚園・認定こども園と小学校の縦のつながりの連携が進み、小学校の不登校児童数は減少した。今後、すべての児童生徒にとって、居場所のある学校づくりが課題といえる。
また、地域人材の活用回数については、目標値を越えるなど、地域総ぐるみによる教育が浸透しつつあるものの、新しい人材の発掘については課題である。

今後の方向性 小中一貫教育とコミュニティ・スクールの取組みをさらに推進し、ふるさとのつながりによる「学びの里」をさらに構築し、子ども一人ひとりの「生きる力」を育む。また、安全・安心な環境の中で、特色ある学校運営が行い、先進的に取り組んできた小学校英語教育や、ICT環境等を活用した特色ある活動を充実させ、未来を担うグローバル人材育成に向けて取り組む。